

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年4月1日

事業所名 キッズガーデンSeeds

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			・学習や戸外活動等、それぞれ児童が過ごしやすいうに工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	4	1			・人員配置は適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5			・現在、肢体不自由の児童はいない。又は受け入れていない。受け入れることになった場合は、検討していく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2		・半年ごとに振り返りと反省を行い、管理者と面談を行っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4			・外部の評価は、行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			・月に一回、テーマを決めて行っている。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			・契約の際やモニタリングで聞き取りを行い、最低半年ごとに目標の見直しを行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		・契約の際やモニタリングで聞き取りを行い、半年ごとに目標の見直しを行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3		・毎月の職員会議や朝礼の際にスタッフで話し合いを行っている。今後も継続して話し合いを行っていく。	・今後も活動や個別の課題等についてその都度意見を出し合い努力していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	4		・毎月の職員会議や朝礼の際にスタッフで話し合いを行っている。今後も継続して話し合いを行っていく。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		5			・きめ細やかにとまではいかないが、職員会議や朝礼等で話し合いをおこなっている。コロナ禍でもあり、活動を行うにあたり難しい場合もある為、今後も職員会議等で話し合いを行っていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2			・毎朝朝礼を行い、職員間で共有している。または、職員会議でも話し合いをしている為、継続して随時話し合いを行い、共有していく。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		5			・職員全体ではないが、個別に職員同士で情報を共有したり、自分が支援に入っていない児童の記録は、目を通すようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1		・記録を記入した後は、必ず読み返すようにしており、自分が記録したものの以外も読むようにしている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	2	3			・ガイドラインから組み合わせるなど意識しているとは言いが、結果的に遂行できている部分もある。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4			・回答無1 ・現在（これまでも）医療的ケア児の受け入れは行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		4			・回答無1 ・直接的なやり取りではないが、相談支援事業所を通じて、情報を共有している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4			・回答無1 ・相談事業所を通じて、情報を共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	4			・研修については、感染対策の観点から、動画視聴等を実施している。必要であれば、電話にて個別に相談を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	2		・現在は、コロナ禍でもあり、実施できていない。また、交流を望まれていないご家庭もあることから、今後行う予定はない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	4	1			・自立支援会議や地域の部会等に積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				・連絡帳への記載や送迎時に保護者の方に様子をお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5			・ペアレントトレーニングは行っていないが、事業所内相談は実施している。今後も随時事業所内相談などで対応していく。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		・契約の際に、必ず説明を行っている。問い合わせがあった場合には、随時対応していく。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4			・回答無1 ・コロナの感染予防の観点から保護者会等は、実施できていない。今後は、感染状況などを見て、検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1		・インターネット上のブログ等で活動について随時情報発信を行っている。また、コロナ関連での連絡については、その都度文書を配布している為、今後も継続して行っていく。	
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1		・それぞれの児童に合わせて、絵カード等を使い、分かりやすいように配慮している。保護者の方には、送迎時に様子をお伝えしている	
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5				
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3			・保護者の方には、周知できていない。今後は、保護者の方の目の届きやすい場所にマニュアルを設置する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			・定期的に防災訓練等を行っている。またインターネット上のブログ等で訓練の内容や様子について随時情報発信を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			・セルフチェックシートの記入と研修を行っている。	
	41	このような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		・半年ごとにモニタリングや目標の見直しを行い、保護者の方に確認や説明をして了解を得ている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4			・現在、アレルギーの児童はいないが、契約時にアレルギーの有無は確認している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5					